



# ぼらんていあ通信

1月号  
通巻 No.470

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会 2021年1月26日  
連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内  
TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp HPアドレス: http://sagamiva.info/

## 2021年 新年のご挨拶



会長 高橋 功

皆様、新年明けましておめでとうございます。素晴らしい新年をお迎えになりましたことと思います。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が4月7日に発令され、さらに2021年1月7日から2月7日まで再度緊急事態宣言が発令されました。

事業の面では、宣言期間中（4月7日～5月31日）は事務所の閉鎖、HC活動と傾聴活動を中止、あじさい会館も貸室は貸出中止となり各委員会の中止、理事会も正副会長での開催、総会も会員の皆さんに書面で議決権行使して頂き、それを受け正副会長で総会を開催しました。その他予定していた市主催の「さくら祭り」「夏のボランティア養成講座」「10月のほかほかふれあいフェスタ」「2月のボウリング大会」などの事業を中止しました。

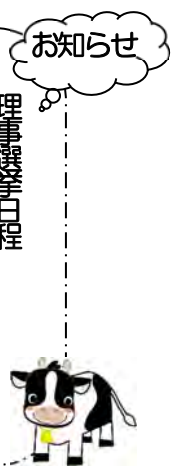
そのような中、ぼらんていあ通信はあじさい会館が使えないときは印刷機を他所で借り、発送を自宅で手分けしてするなど頑張っています。

又、11月に福祉車両12号車を購入しました。さらに、大阪社協しポートの「集まらなくてもつながる方法」からヒントを得て2つの事を始めました。

1つは、DVDによるHC活動やボランティア協会のPRRの為にDVD制作実行委員会を立ち上げました。その手始めに10月17日に中止になった「ほかほかふれあいフェスタ」の会場を利用して「スπιッツエンパフォーム」ス「出張/ミヤタ珈琲」筆記通訳サークルもみじ「よさこいソーラン」手話ダンス花言葉「など」出演頂きそれを録画しDVDを作りました。2つ目は、ボランティアグループの為にZOOMを使ったオンライン会議開催と銘打って地域のボランティアグループやボランティア協会との関係グループを対象として春の講座を開催します。

2021年度も2つの課題があります。1つは、理事選挙です。コロナ禍もあり若干遅れています。2月に立候補者が出そろい3月には皆さんに選出して頂きたいと思っています。2つ目は、ボランティア協会は1981年6月に設立された2021年の月で40周年となります。過去も10年毎に冊子等で記録を残していますので、今回も準備委員会を作って10年の記録を残したいと思っています。皆さん奮って40年

誌編集委員会にご参加ください。その他の事業としてはDVD制作を含めて従来通り実行していきます。しかし、これもコロナ禍次第です。皆さん、マスク、手洗い、人ごみには出ない等実践し、人に感染させない・しない様に頑張ってください。



### お知らせ

理事選挙日程  
1ヶ月延期のお知らせ

11月号にて役員選出についてお知らせしましたが、緊急事態宣言が再発出され、あじさい会館の会議室の使用ができず準備作業ができません。立候補者の情報と投票紙の発送を1ヶ月遅らせて2月のぼらんていあ通信に同封させていただきます。

これに伴い投票期間と開票を左記のとおり1ヶ月ずつ延期させていただきます。

- ◆投票期間  
3月1日(月)～31日(水)
- ◆開票  
4月

よろしくお願い致します。  
役員選出管理委員会

委員会からの



講座検討委員会から

委員長 西本 敬

この委員会は協会主催の講座について企画・実施しています。メンバーは、高橋会長、杉本副会長、羽田理事、小川紀江さん、渡邊亮さんと私、それに市社協のボラセンから井上さんに参加していただいています。講座は市社協との共催という形式で実施していきます。

これからボランティアをやってみたいと思われる市民の方々に役立つ講座を行うことは、福祉ボランティア関係の団体の皆さんにとっても大切なことで、いろいろな事業は当協会だからできる独特の働きであり、各団体との長く蓄積された良好な関係があることを可能なことで、協会事業の根幹をなすものと考えております。

なお、夏のボランティア養成講座は市内のボランティア団体と一緒に企画しますが、基礎講座とコース別講座の構成となっていて、協会創立以来少しずつ改良しながら継続してやってきました。その結果各ボランティア団体での会員増強に寄与してきました。春の講座は、その都度バラエティに富んだ内容を行ってきましたが、最近で

は傾聴ボランティアについての講座が多くなってきました。

しかしながら、昨今の新型コロナウイルス感染症問題のために、講座の実施ができない状態が続いています。昨年の春講座は「高齢社会を生き抜くためのあなたの選択」を計画し受講生募集までしましたが、開催できず、夏の講座も「ボランティア基本の基講座」として計画しましたが、各ボランティア団体に呼び掛けたところで残念ながら中止となりました。

この春は、「ボランティアグループのためのZoomを使ったオンライン会議開催講座」を企画していますが、これも2月開催を3月に延期して、この後の状況をかたずきのんで見守っているようです。今回は、市内の福祉ボランティア団体さんにとって今まさに有意義と思われるオンライン会議に参加するだけでなく、会議を主催できるまでをやりたいと張り切っています。「コロナ感染状況の鎮静化を祈るばかりです」。

以上、当委員会のごじをお話ししました。メンバーにはごなたでも参加できますので、是非、新年度から結構ですのべに参加ください。お待ちしております。



2月の記念日は?

小倉義男

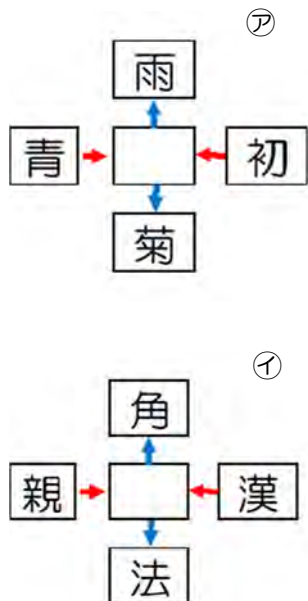
2月25日、アビスの日です。1890(明治23)年2月25日、当時の日本麦酒醸造会社よりアビスビールが発売されました。当初は恵比寿様(戎様)の別称でもある大黒天にちなんだ商品名を企図していたそうですが、既に横浜に「大黒ビール」が存在していたため、混同を避けるために「アビス」が採用されたそうです。そんな事情があったのですね。(^^)



小倉画

クイズに挑戦

①真ん中の□に漢字を入れて、意味の通る2字熟語を完成させてください。また、↓(矢印)の方向にも気をつけましょう。



②今年(2021年)は丑年。牛に関する問題です。

①日本で飼育されている乳牛と肉牛の頭数はどっちが多い?

②牛乳を温めるときは電子レンジで加熱した方が栄養が多くとれる。○か×でお答えください。

③日本で牛乳が発売された当時の容器は、ガラス瓶、ブリキ缶、紙パックのどれでしょう?



市内活動グループ訪問記

クリスマス



「障害者生活介護サービス事業所のびやか」さんを訪ねて



\*注

12月23日(水)、冬晴れの暖かい昼前、横山公園から歩いて5、6分、横山団地バス停からも5分程の所にある「障害者生活介護サービス事業所のびやか」さんを、広報委員の植野さんと2名で訪問しました。1・2階が社会福祉法人さがみ愛育会の「認定こども園すこやか」で3階が「のびやか」さんの活動場所になっています。西向きの特ラスから横山公園の樹々や野球場の照明が見え、とても見晴らしがよいです。



販売される製品を手にする利用者さん

通りに面したフェンスに「木工、陶芸、紙すき製品を一人ひとりの気持ちに合わせてながら、一つひとつ手作りしています。穏やかに、のびやかに、人とかかわりの中で自主性を育てることを大切にしています」とメッセージボードが掛けてありました(後日通った時にはクリスマスの飾りが獅子舞の絵にかわっていました。もうすべお正月ですね。ちょうど納品に行く車が出発するところでした。近くの横山団地バス停前の商店街の角に系列の「キッチンハウス横山」と「喫茶うらら」があり、手作り弁当やお菓子などを売っています。

3階の相談室に案内され、施設長の神沼由紀夫さんと支援員の小瀧未央さんにお話を伺いました。神沼さんのお話の冒頭に高橋ツギさん(長いことボフンティア協会で相談員をやっていた)の名前が出てきたのでびっくり。神沼さんが以前淵野辺保育園に勤めていたときの縁でしょうか。昭和40年代に横山団地ができ、すこやか保育園が生まれました。「のびやか」は平成13年に開所、現在48名が登録して活動しています。「のびやか」は生活支援を中心の利用者が楽しく通って来られるよう、個人に合わせた作業を考え、支援しています。ここで作っているさまざまな製品を見せていただいたとき説明を伺っている間も園庭から元気な声が聞こえてきます。テーブルの上に木工製品や陶芸作品が次から次へ現れ、目をみはるばかり。紙面に書かれたくせませんが、小さいものはキーホルダーから30センチくらいの精巧な乗り物のおもちゃ(歩き始めた幼児がひっぱって遊べる)や「紐がついてくる」、キッチンで使える鍋敷、牛乳パックの手すきばがまやおの等々。COSYのロゴマークが付いた製品も多くあり(COSYとは居心地の良い、快適なという意味があるそうです)、保育園の先生がデザインを考案したおもちゃがいくつもありました。



利用者さんと相談員の小瀧さん

余暇活動も盛んでおやつ作りやクリスマス会、散歩、保育園のお子やママたちの運動会やママまついへの参加などいろいろな交流が盛んに行われます。12月の

自主製品は直営のキッチンハウス中央・横山・下九沢の他、あじさい会館のパオバフ、ベジタバーナ、言葉生協和泉短大などで購入できます。おもちゃに名前を入れたり、個人の注文にも応じてくれるそうですよ。12月のほかほかふれあいフェスタ冬のイベント・障害者週間キャンペーン(相模大野にて)にも参加され、手工芸品の売場は最後までにぎわっていたそうです。(植野・三十尾)

\*注 COSYのロゴマークが付いている鍋敷き



\*障害者生活介護支援施設 のびやか  
施設長 神沼 由紀夫  
相模原市中央区横山4-12-14  
TEL 042-757-2130

牛乳の栄養



- ① 「春」 ② 「方」
- ②の「方」は肉牛―日本で飼育されている乳牛は135万2000頭、肉牛は255万5000頭と肉牛の方が多いです(2010年)。
- ①は×―牛乳に含まれる栄養素であるタンパク質、ビタミンAなどは加熱に強い栄養素ですが、電子レンジで加熱すると急激に温度が上昇するため、ビタミンB12の量が半減してしまいます。鍋に入れて、100℃の加熱すれば栄養を損失してしまいます。
- ③はフリーズ―日本で牛乳が一般的に発売されるようになったのは明治初めの頃。大型のフリーズで運んだ牛乳をひしゃげると、1リットル(98℃)ずつ量り売りをしていました。1888(明治21)年に衛生的なガラス瓶が用いられたことになり、紙パックで販売されるようになったのは1955(昭和31)年になってからです。

理事会報告

1月6日(土) 定例理事会(理事6名出席)

1, 報告事項  
来年度あじさい会館が大規模修繕実施の通知あり。  
2, 委員会報告

◆広報委員会・ほい通部会

・ほい通1月号は予定通りの日程で工夫して発行する。

◆広報委員会・情報部会

・ボラ協の対応をホームページに掲載する。

◆広報委員会・わいわい部会

・50号の発行は延期pono。

◆ハンディキャップ委員会

・運行休止の対応をする。

◆事務局委員会

・寄付金受領証明書を発行し、1月4日に発送した。

◆講座検討委員会

・Zoomを使っての会議の進め方」の講座を3月

24日で開催pono。

◆傾聴委員会

・活動休止の対応をみる。

◆その他

・DVD制作実行委員会では、内容を検討中。

3, 審議事項

◆新型コロナウイルス非常事態宣言発令における対応

・あじさい会館の食室閉鎖に伴う対応を検討する。

・HCの運行及び傾聴活動を休止とし、事務局は閉鎖pono。

・会員及びHC利用会員に葉書で通知する。

◆通常総会に向けての準備日程について

・通常総会を10月23日開催pono。

・例年通りの日程で準備を進める。

次回理事会 2月13日(土) 10時より



Twitter

ぼらんていあ通信版 ツイッターコーナー

会へ喜びを一日中伝える... 渋谷 静子



私がボランティア活動を始めたきっかけは、怪我で入院を経験したことでした。入院中はスタッフの皆様が大変優しくしていただきました。ただ、身体的苦痛には対処していただいても、精神的な不安や苦痛に（誰か私の話を聞いてー）と思いながらスタッフのお忙しそうなお姿に、これは病人の我儘だと抑えておりました。退院後、傾聴ボランティア講習会の募集を目にした時は「これだー」と。早速受講し傾聴活動に参加させていただきました。そして、病院でも月に2〜3度入院患者様の話相手としてボランティアをしてみたいました。現在はボランティア協会での傾聴活動はお休みをしておりますが、受講をきっかけに傾聴活動を続けたいと思っています。

感謝しております。

現在はコロナ禍で人との交流が難しい局面にあります。病院でのボランティア活動も休止中です。入院中の方々は病気の苦しみの上、家族とも友人知人も会えないという二重の苦しみを味わっています。

ある記事に「人間は五感を使って他者への信頼を築く生き物だ。視覚や聴覚だけではなくその時、鍵になるのが、嗅覚や味覚触覚といった本来『共有できない感覚』だ。他者の匂い、一緒に食べる食事の味、触れる肌の感覚。こつしたものが他者との関係を築く上で重要なのだ。」「オンラインでの『つながり』は『会つ』こととは違つ」とありました。なるほどー！この一年のちやもやした気持ちには会いたいと思う人に直接会えないからだ。会うことで言葉以上のものが伝わるのー！

面会制限により最愛の人達と会えない悲痛な声を聞かされたら、手を取っ合ひ、抱き合ひ、会へ喜びを共有できる日が一日も早く訪れることを願っています。

相模原市点訳赤十字奉仕団の皆さんが作成した動物の絵のかわいい葉です♪





理事のつぶやき

おおぬき さかえ  
大貫 栄



新型コロナウイルスにも新しい年が始まりました。今年もよろしく願っています。

11月も違う年末年始を過ごされた方が多いと思います。今年で10年目になる東日本大震災が起きた時、自分の生涯でこんなことがあるのか、と呆然としていましたが、今度は世界中が未知の感染症に見舞われてしまい、こんなに科学が発達していても、人間の力では太刀打ちできない脅威が長期間に渡りじわじわと迫ってきていることに、戦慄を覚えます。過信禁物の侮つてはいけない領域がまた増え、平穏な社会は奇跡のバランスの上に成り立っていることを改めて認識しました。今はみんなが地道に「できること」を続けていくのが、事態収束につながる道はなかなかなさそうです。

一方、ワクチン開発の叡智や医療従事者の火事場力には、人の限らない可能性を感じ、応援したい気持ちでいっぱいになります。

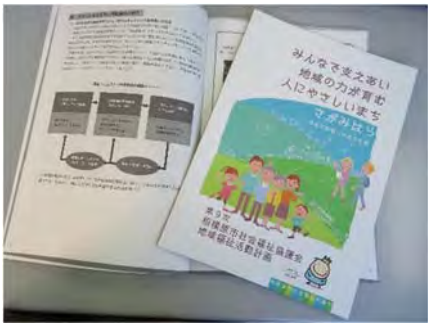
地震や水害、感染症は、いつ誰か遭遇するかわからないので、日頃からの備えが大事です。周囲に目を転じて、平常時にも地域には孤立や生活困窮に陥っている人がいて、コロナ禍ではそれが見えなくなっている現状があります。しっかりと食べて体を動かして（働きかけ）の休養として、免疫力を高める生活を送りたいものですが、状況によりそれが叶わず、声をあげられない方がいる、というように想像力を働かせなくては、心細くも。

ひとりの親家庭のお母さんが「コロナのためにパートナーを解雇」になってしまった途方に暮れている、アルバイトでリモート授業の学費を捻出した学生さんが収入の道を絶たれてしまい、おまけに神奈川県からは帰省しないと言われ孤独を感じている、といった話を耳にすると涙が出てしまいます。身近でお困りの方に気づいたら、行政窓口や社協に相談するようお伝えください。

市社協では市内全地区に配置された「コミュニティソーシャルワーカー」やボランティアセンター、また資金貸付窓口などが支援団体をご紹介したり、一緒に解決の道を探るお手伝いができます。

今年4月から、地域の方々のご意見や計画推進委員の尽力により策定された第9次地域福祉活動計画（令和2年度～5年度）の実施2年目にあたり、重点目標として「小地域の支え合い活動の推進」「子ども・若者支援活動団体の連携・協働の促進」「権利擁護の総合的な支援事業の推進」が掲げられています。4ページにまとめた冊子も発行されておりますので、必要な方は市社協までご連絡ください。

まだまだ制約がある日常生活ですが、身近な支援のあいの気持ちをお忘れず、少しでも明るい1年になるよう、一緒にできることを探っていきます。



あふ、ほんご?



タイの村の小さな魚類保護区  
4半世紀で淡水魚が回復  
世界の淡水生物を救うプロジェクト

ナ・ドイはタイ北西部にある静かな村だが、1968年、この村の人々は近くを流れるンガオ川の漁獲量が減っていることに気づいた。とれる魚も小さくなっていった。そこで、ナ・ドイ村の75世帯が一丸となって一部の流域を禁漁区に定めた。

それから4半世紀近くが経過した今、彼らの取り組みが実を結んだ。ンガオ川の保護区は大きなバルブ（コイ科の小魚）やマハシル（コイ科の大型の魚）でいっぱいになり、村人が漁をする保護区外の流域での漁獲量も大幅に増加した。

ナ・ドイ村の農夫ソック・ワタナは、「村人がプロジェクトを共有することで、村人の間に調和と一体感が生まれ、一人一人が心理的に良い影響を受けています」と言っている。

村人の多くは、心が乱れたらしく、川に魚を見に行けなかった。

外部からの支援や資金をほとんど使わずに「コミュニティ」が独自に行っていたという事実は注目し値するものであり、考えらるる中の最良のソリューションだ。

\*ナショナルシオクコミュニティグループ



## ご協力ありがとうございました！

ぼらんていあ通信 10月号で『レトルト食品・調味料など提供のお願い』、12月号で『魚釣り遊びの「魚」の絵描きボランティア』募集に複数の方から問合せ、ご協力をいただきました。皆様の暖かいお力添えにより、困っている方々に向けて支援ができました。厚くお礼申し上げます。



お作りいただいた「魚」  
(全体の一部)

現在、緊急事態宣言の発令によりボランティア募集を中止していますが、宣言が緩和され次第、また紙面にて活動を紹介させていただきます。この困難な状況の中ですが、心を一つにして乗り越えていきましょう！

連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所：電話 042(759)7982

相模原市社協 中央ボランティアセンター：電話 042(786)6181

《 今月のイラスト

…お兄ちゃんは私のヒーローだ！ 》



なお

山口尚美画

### ご寄付をありがとうございました

皆様のご寄付は当協会の運営に有効かつ大切に使用させていただきます。

< 12月の寄付者 >

6名の皆様からご寄付をいただきました。

< 12月の寄付金 >

総額 37,060円でした。

### 相模原ボランティア協会 2月の予定

| 日     | 時間     | 内容         |
|-------|--------|------------|
| 9(火)  | 14:00~ | 傾聴委員会      |
| 10(水) | 13:00~ | 広報委員会ぼら通部会 |
| 13(土) | 10:00~ | 定例理事会      |
| 17(水) | 13:30~ | 講座検討委員会    |
| 20(土) | 13:00~ | 事務局委員会     |
| 24(水) | 13:00~ | ぼら通2月号印刷   |
| 25(木) | 10:00~ | DVD制作実行委員会 |
|       | 13:00~ | ぼら通2月号発行   |

※2月7日までの緊急事態宣言の期間はあじさい会館の会議室が使えないため、各委員会の1月の予定が中止となり、2月の予定が決められない状態となっています。

#### 編集後記

今朝も氷点下5度でした。私(こ)こも6時起床と同時に朝の気温を記録しています。今月も寒く、元日より17日まで全て氷点下でした。特に9日、10日は氷点下の度より度でした。まだまだ、これからも寒さは続きます。寒さ、コロナウイルスに負けないよう頑張ります(勝)